

- 1 収録実施日 令和4年5月27日（金）午後3時00分頃から（予定）  
放送日 令和4年6月1日（水）
- 2 実施場所 小国警察署（電話対応）
- 3 放送の主題「防災意識の啓発」
- 4 放送内容

「はい、小国警察署です。」の時間です。よろしくお願いします。  
本日の担当は、小国警察署警備係の齊藤希翔（さいとうきしょう）さんです。  
齊藤さん、よろしくお願いします。

よろしくお願いします。

齊藤さん、本日のテーマは何でしょうか。

今回は、「防災意識の啓発」について、お話ししたいと思います。

お願いします。

みなさん、災害への備えは大丈夫ですか？

近年、全国的に豪雨や台風による大規模災害が相次いで発生しており、一昨年の「令和2年7月豪雨」では、線状降水帯が発生したことにより、熊本県内で65人の方が犠牲となられ、今もなお2人の方が行方不明であるなど甚大な被害をもたらしました。

小国町でも大雨が降りましたね。

はい。「令和2年7月豪雨」では小国郷の至るところで土砂崩れ等の被害が発生し、現在でも復旧活動が行われている箇所があります。そのため、今年の梅雨も、より一層警戒が必要だと思います。

大雨の原因となる線状降水帯は予測が難しいため、避難する時間的余裕がないことも多く、また、過去に被害のなかった地域でも予想以上の降水量により大規模な災害が発生する危険性が十分に考えられます。日頃から、食料や生活用品等の準備や避難要領を確認するなど、起こりうる災害に備えることが大切です。

### 避難する上で重要なことはなんですか。

はい。避難で重要なことは、「空振りをおそれないこと」です。

豪雨や台風は、地震と違い、事前にある程度危険性を予測することが可能です。

このくらいなら大丈夫だろうと過信することなく、最新の情報を参考に、危険が迫る前の明るい時間帯に予防的避難を心掛けましょう。

また、新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

マスク等の感染症対策を徹底して、身の安全を優先しましょう。

### ほかにはありますか。

はい。災害から身を守るためには、最新かつ正確な防災情報を入手して、自分に降りかかるおそれのある危険を正しく認識するとともに、将来の危険を想定して、避難時期や避難場所等を適切に判断することが重要です。

しかし、「平成28年熊本地震」の際には、SNSを介して複数の虚偽の情報(デマ情報)が流されています。インターネットは情報を入手するのに有効な手段ですが、虚偽の情報が含まれる可能性があることを認識し、自治体のホームページ等で正確な情報を入手しましょう。

### 大雨になる原因、予想される災害はありますか。

はい。集中豪雨が発生しやすい条件として、

- ・ 前線の停滞
- ・ 台風の接近や上陸
- ・ 大気の状態が不安定で、次々と雷雲が発生する場合

などがあります。

予想される風水害は、

- ・ 大雨による土砂災害
- ・ 河川の氾濫・洪水
- ・ 建物や道路の冠水

などがあります。

河川の氾濫・洪水は、川幅の狭い河川では、急激に増水し、河川が氾濫する可能性があります。また、下流域が小雨であっても、上流域で大雨が降っている場合には、下流域で急激に増水する可能性があります。

冠水は、道路などが少しでも冠水している場合は、無理に進行せず、安全な道路に迂回しましょう。また、水深が浅くても水の流れに逆らって歩くのは大変なうえ、視

認性が悪いので水路や蓋のとれたマンホールに気づきにくいといった危険があります。

**絶対にしてはいけない行動などがありますか。**

はい。雨風が強いときに、

- ・ 田畑の様子を見に行く
- ・ 海や川の様子を見に行く
- ・ 屋根等の高所で作業をする

などの行為は大変危険です。絶対にやめましょう。

**わかりました。雨風が強いときは危険な行為は絶対にしてはいけませんね。  
そして、予防的避難、早めの避難が大事ということですね。**

はい。そのとおりです。

また、昨年から、災害時に自治体が発令する「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されるなど法律の改正がありました。

警戒レベルは全部で5段階あり、警戒レベル1は「心構えを高める」、警戒レベル2は「避難行動の確認」であり、レベル1、2は気象庁が発表するものです。

警戒レベル3は「高齢者等避難」に、警戒レベル4は「避難指示」に、警戒レベル5は「緊急安全確保」にそれぞれ変更されました。

なお、警戒レベル3、4、5については、自治体が発表するものになります。

**昨年、新聞やテレビで報道されていましたね。**

はい。警戒レベル3の「高齢者等避難」は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。避難に時間がかかる方は、この警戒レベル3で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル4の「避難指示」が発令されるタイミングは、「災害のおそれが高い」場合に発令されることとなります。「避難指示」が発令された場合は危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル5の「緊急安全確保」は、すでに安全な避難ができず命が危険な状態になっている可能性があります。市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、「緊急安全確保」は必ず発令される情報ではありません。

この「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません。繰り返しますが、警戒レベル4の「避難指示」が発令された場合は危険な場所から全員避難しましょう。

私たち自身も事前に確認しておかなくてははいけませんね。

そうですね。

わかりました。

では最後に、災害に対し日頃からどのような備えが必要ですか。

はい。4点お伝えします。

1点目は、災害イメージネーションです。

災害との遭遇をいかに具体的に自分自身でイメージできるかが、防災対策の鍵です。常に災害への備えを自分自身でイメージしておきましょう。

2点目は、地域の危険箇所や避難経路の確認です。

日頃から、住んでいる地域で過去に水害や土砂災害の被害がないか確認することも大切です。町が作成しているハザードマップを確認し、自分の住んでいる地域の危険箇所、過去に浸水した場所等や避難経路を予め把握し、確認しておきましょう。

3点目は、備蓄食料等の準備、無駄にならない日常備蓄です。

これまでの災害用備蓄は、乾パンや懐中電灯等普段使わない物を用意する特別なことと考えられてきました。しかし、日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」なら簡単で無駄にならない備蓄ができます。

最後は、家族との連絡手段の確認です。

災害時に家族が離れ離れになった場合の安否の確認方法を決めておきましょう。

電話が通じにくくなることも想定し、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板等の使用方法を確認しておきましょう。

はい。わかりました。

本日の担当は、小国警察署警備係の齊藤さんでした。齊藤さん、今日はありがとうございました。では、最後に齊藤さんから曲のリクエストをお願いします。

はい、(歌手名) で (曲名) です。ありがとうございました。

以上、「は〜い、小国警察署です。」の時間でした。